

西洋美術史講座

「画家の自画像を繙く」 ルネサンス美術から近現代美術まで

「眺める」鑑賞から、作品を「読み解く」鑑賞へ
美術作品を豊かに愉しむために

講師：古川真宏
関西学院大学文学部教授

2025
9月14日(日) 開講 14:00
(30分前開場)

会場 中央公民館 ホール
入場料 500 円 ※当日受付にて
定員 150 名 要予約／先着順

お申込み・問合せ

受付開始 8月8日(金) 10:00～

① 電話：0797-69-6831

② WEB 申込みフォーム
(二次元コードから)



※手話通訳・要約筆記を希望される方はお申込み時
にお伝えください。受付は9月1日(月)までと
させていただきます。

第1部：絵画鑑賞の基本

＊画家の自画像を例に絵画の見方、時代ごとの変化、
楽しみ方の基礎を解説。

第2部：画家たちの自画像

＊レンブラントやゴッホなど美術史上で有名な自画
像を取り上げながら、画家たちは何にこだわり、
どのように自己を表現し、そこから何が読み取れ
るのかに迫る。



Masahiro Kogawa Profile

青森県生まれ。国際基督教大学教養学部人文科学科卒業。京都大学大学院人間・
環境学研究科博士後期課程修了。専門は、世紀末ウィーンを中心とした西洋美術
史、美学。現在は、関西学院大学文学部教授。

著書に『エゴン・シーレ 鏡の中の自画像』(平凡社、2023年)、『芸術家と医師
たちの世紀末ウィーン』(みすず書房、2021年)、『ウィーン総合芸術に宿る夢』
(共著、竹林舎、2016年) ほか。



阪急逆瀬川下車東へ約12分
宝塚市役所向かい

